

令和5年度第1回 岡崎市美術博物館協議会会議録

1 開催日時及び場所

令和5年7月13日（木）13:55～15:37

岡崎市美術博物館 1階会議室

2 出席委員（定数10名 2名欠席）

会 長	井上 瞳	（学識経験）		
副 会 長	野田 光宏	（社会教育・家庭教育）	竹平 真仁	（学校教育）
	長坂 博子	（学校教育）	太田 公典	（社会教育）
	林 羊歯代	（学識経験）	菅沼 和子	（市民公募）
	三輪 哲也	（市民公募）		

（欠席委員は、鈴木 章司（社会教育）、荒井 信貴（学識経験）2名）

3 館長及び説明のため出席した事務局職員（8名）

美術博物館特任館長	榊原 悟	社会文化部長	中村 耕
美術博物館長	前島 豊	美術博物館副館長	大澤 一実
地域文化広場館長	五十嵐千草	地域文化広場副館長	諸井 力
美術館長	犬塚 恵子	美術館副館長	倉橋 浩二

4 会議の成立

事務局より、委員10名のうち8名が出席のため、岡崎市美術博物館管理規則第8条第2項の規定により、本日の会議は成立していることを報告した。

5 会議の内容

次第3 報告事項

（1）令和4年度 展覧会開催結果について

議 長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和4年度に実施した美術博物館、地域文化広場の展覧会について、入場者数、各種企画内容等を資料に沿って説明）

議 長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員A＝包括的な評価があってもいいのではないかと感じた。総括的な館の評価がある方がより説得力があり、資料がわかりやすいのではと思った。うまく行き過ぎた

事例の振り返りがあればいいと思った。

議長＝A委員は長年会社をやってらっしゃっただけに的確な質問だと思う。

事務局＝評価基準が確立していないが、今後検討していきたい。

議長＝美術館や博物館の評価は難しい。客観的な評価がなかなかしづらい。静岡県立美術館が長年評価に取り組んでおり参考になるが、最終的な結論を出すのは難しいと思う。ただ、今の質問は重要であるため、できる範囲で評価について検討していければと思う。

委員A＝達成率や回収率がすべてではないと理解しているので、何か前向きな評価ができるといいと感じている。

議長＝バランスだと思う。この館にとって重要な展覧会と集客が多く親しみのある展覧会を1年の中でバランスよく開催するということだと思う。

事務局＝ありがたいご意見。

委員B＝名取春仙、ルネ・ラリックは入館者が目標に届かなく残念だった。春仙は歌舞伎好きには好評だったが、歌舞伎に馴染のない人には歌舞伎のレクチャーがあったほうが分かりやすかったと思う。ルネ・ラリックはもっと人気があってもよいと思った。美しい展示で、内容も良かったと思う。地域文化広場のBRIO展の入場者が多く、達成率が高いのに驚いた。造形教室に来る子供たちがついでに展示を見られるような内容だったのかと思う。

事務局＝BRIO展は週末に物販を実施した、第1展示室にBRIO広場を設けたことにより、リピーターが多く、集客につながったと思う。

春仙は歌舞伎好きには高評価であったが、遠方であるがためになかなか来館に結びつかなかった。一般の方にもなじみのあるような工夫が必要だったかと思う。収蔵品を活用できた点はよかったと感じている。ルネ・ラリックは会期が長く、中だるみのタイミングで新型コロナの第7波が重なったことにより、来場者が伸び悩んだ。

20代の来館者の割合が多かったのも、若い層の方にも楽しんでいただけたと思う。

委員C＝前回の協議会でも発言したが、やはり広報が重要だと思う。多くの人に情報が行き渡るような広報の仕方を考えてほしい。

事務局＝ご意見を参考にしたい。

(2) 令和5年度 展覧会開催状況について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝(会期を終えた美術博物館、地域文化広場の展覧会の入場者数、各種企画内容、今後予定している展覧会等の内容を資料に沿って説明)

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

議長＝138億光年宇宙の旅はどのような展示か。

事務局＝本日配布した年間スケジュールに概要を掲載しているが、宇宙の写真展になる。当初令和4年度に開催する予定であったが、工事休館に伴い延期になっていた展覧会である。

議長＝巡回展ではないので、自主企画は担当の学芸員が異動になると難しいのは理解できる。

委員B＝人事異動により予定の展覧会が開催できなくなるということがないようにしてほしい。

事務局＝職員の異動については、人事課の裁量になるが、こちらの調整不足もあったと感じている。

（３）令和４年度新収蔵資料について

議長＝説明をお願いします。

事務局＝（令和４年度に購入又は寄附・寄託を受けた作品・資料について説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

（ご意見・ご質問はなし）

（４）教育普及事業について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和４年度の教育普及事業について、資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員A＝美術博物館と美術館でオカザえもんの事業を行っているが、連携した事業なのか。

事務局＝美術博物館は10周年ということで実施した。美術館は、市の文化振興課のオカザえもん10周年事業の中での取り組みの一つとして実施した。

委員D＝美術館の催しに「館長の」とあるのは珍しい。オリジナリティあふれ、館の特徴が見える手作り感のある事業はこれから大事になってくると思うが、どのような成果があったのか。

事務局＝昨年度初の試みとして館長の美術講演会を実施した。学芸員でもある館長が、研究されている題材でもあり、専門的な話で盛況であった。

委員C＝参加した立場として発言させていただく。以前地域文化広場で村山槐多展を開催した時の講演会は盛況すぎて講演会が聞けなかった方もいた。昨年度は更に研究も進んでいたお話だったので、こういう機会がもっとあればいいと思う。デッサン教室も友人が参加したが、学芸員の個性を活かした事業を実施してほしい。ミュージアムコンサートもよかった。今後もジャンルを超えた新しい取り組みを実施してほしい。

議長＝それぞれの館ならではの取り組みがいろいろできるといいと思う。

（５）美術館展示利用実績について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和４年度の美術館入場者数、展示室の稼働率等について、資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員A＝稼働率は、実際何割くらいがよいのか。100%だと実際は待ちが生まれ、不満のある方が出てしまうのではと思うが、数字で見ると7割切っていると高く見えないので、実際何割だと気持ちよく使えているという数字なのか。

事務局＝何割が適正かははっきりわからないが、実務を処理していて感じるのは、この稼働率でも実際は期間や会場が重複しており、期間や場所を変えるなどの調整を行ったうえで、希望者が利用できている状況なので、この稼働率が適正に近いのかもしれないと感じている。

次第4 議事

令和6年度開催予定の展覧会について

議長＝それでは議事の令和6年度開催予定の展覧会について、事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和6年度開催の各展覧会について、開催予定期間、内容等を資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員A＝改修工事は大変そうだと感じた。30周年に向けて心配だ。

事務局＝改修方法などは現在工事を担当している建築課、実施設計業者と協議しながら検討している。

議長＝他にご意見がなければお諮りします。令和6年度に開催予定の展覧会の事務を執り進めることについて、承認してよろしいでしょうか。

（全員承認）

議長＝令和6年度開催予定の展覧会計画については、承認されました。事務局におきましては、ただいまの意見を踏まえて、準備を進められるようお願いをいたします。予定の議事は終了しましたが、「4 その他」の地域文化広場再整備について、事務局から説明をお願いします。

事務局＝（地域文化広場再整備について説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

（ご意見・ご質問はなし）

議長＝たくさんの方が集うような場所になるといいと思う。

閉会あいさつ

特任館長＝本日は貴重なご意見を頂戴し、また、令和6年度の展覧会についても承認をいただき、ありがとうございます。鋭意努力し、できるだけよい展覧会にしたいと思います。ご意見・ご指摘については、学芸員とよく話し合っていきたい。委員Aからいただいた総括的な評価については、なかなか難しい。私自身静岡県美術館や文化庁、国立博物館の外部評価にも携わっているが、総合的な評価はかなり難しいと感じている。最近自己評価を行っているが、当館でできるかは難しい。今後検

討していきたい。現状でも実施はしているが、各館の学芸員が前面に出て、来館者や市民と直接接する機会が必要だと認識しているので、そうした機会がさらに増えるよう、今後検討したい。友の会があると、学芸員と来館者が接触しやすいが、常設展示がない美術博物館では難しいと考えている。今年度から2年間委員になっていただいたので、皆様今後ともよろしく申し上げます。

事務局＝以上で令和5年度第1回岡崎市美術博物館協議会を終了させていただきます。次回は2月に令和5年度の第2回会議を予定しておりますので、よろしく申し上げます。本日はありがとうございました。

—以上—